
メダロットΩ -木節カタルのロボトル道-

池野 蛙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

メダロットΩ 一木節カタルのロボトル道一

【Nコード】

N8635T

【作者名】

池野 蛙

【あらすじ】

メダロット…

それは未来のテクノロジーが生み出した、全く新しいロボットである

ティンペットと呼ばれる基本フレームに頭、右腕、左腕、脚部の各

4部のパーツ

それだけではメダロットは動かない。メダロットの脳とも言われるメダルをはめれば人工知能を搭載したお友達ロボットになる

メダロットを戦わせて遊ぶ、ロボトルが大流行していた

そんな中、巷でも有名な不良中学生、木節カタルはある日、いつも通りの帰り道に見慣れないゴミを見つける

ただ、それはゴミではなくメダロットだった！

これは、ひよんな事からメダロッターになった不良中学生の、波乱の物語である

第1話 一不良メダロット誕生！一（前書き）

ケンカばかりの俺が、メダロットになるなんて…

第1話 一不良メダロット誕生！一

「今日もアジトに行きますかっ」と…」

俺は木節カタル。サミダレタウンにある五月雨中学に通う中学二年だ。まあ勉強は真面目に聞いてねえけどな

最近はずぐ家に帰らず、廃工場に隅っこにガラクタで作ったアジトでくつろいでいる

相変わらず陰気くせえ所だよな。…ま、だからこそ選んだ訳だけど

「…今日はとりあえず寝るか」

アジトの中にあるボロソファーに寝転がろうとした途端、何かゴミみたいな箱がソファーの脇に置かれているのが目に入った

「まったく誰だよ、人のくつろぎ場所にポイ捨てなんかしやがって…
って中入ってるじゃん」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8635t/>

メダロットΩ -木節カタルのロボトル道-

2011年10月5日19時07分発行